

政策シート

(政策名) 一人ひとりの可能性を引き出し、伸ばす取り組みの実践
(予算費目名) 小学校教職員管理費

(総合計画体系)

「分野」 子育て・教育

30年後の姿 地域の宝として愛情を注がれた子どもたちは、浜松に誇りを持ち、世界を舞台に活躍している。

10年後の目標

- 子どもたちの成長を第一に考えた地域社会のサポートにより、仕事と子育てが両立できる環境が整っている。
- すべての子どもたちは、互いの個性を認め合い、夢と希望を持って学び、生きる力を身に付けている。

◆基本政策 市民協働による未来創造へのひとづくり

◇政策の概要

発達に偏りがあり、特別な支援を要する児童が在籍する小学校に、発達支援教室を開設し、あわせて指導員等を配置することにより、発達支援教育の充実を図る。

◇関連するSDGsのゴール

④教育									
-----	--	--	--	--	--	--	--	--	--

◇政策のコスト(千円)

	H27	H28	H29	H30	R1
予算	97,467	108,778	112,539	117,285	118,320
決算	91,542	102,372	106,387	111,152	
人件費(A)	4,200	4,200	1,680	1,680	1,680
報酬(B)					
年間経費(予算又は決算+A+B)	95,742	106,572	108,067	112,832	120,000

◇政策の指標

政策指標	単位	R6 目標値	年度	H27	H28	H29	H30	R1
小学校発達支援教室数	教室	76	目標	49	52	55	58	61
			実績	49	52	55	58	
小学校発達支援教育指導員の配置数	人		目標	49	52	55	58	
			実績	49	52	55	58	
スクールヘルパーの配置数	人	109	目標	82	88	91	91	94
			実績	82	90	93	95	

◇平成30年度の政策評価(政策の概要)

発達に偏りがあり、特別な支援を要する児童が在籍する小学校に、発達支援教室を開設し、あわせて指導員等を配置することにより、発達支援教育の充実を図る。

◇平成30年度の政策評価(政策の進捗・課題)

<進捗> 計画通り

計画通り、小学校3校に新たに発達支援教室を開設し、発達支援教育指導員を3人配置した。あわせて、特別な支援を要する児童が在籍する小学校にはスクールヘルパーを配置した。

◇政策実現のために実施する事業一覧

	事業名	総合戦略	重点戦略	主要事業	完了	コスト (千円)	事業費 (千円)	人工				報酬 (千円)
								正規	再任用 (31h)	再任用 (26h)	非常勤	
1	発達支援教育指導員等配置事業	○	○	○		120,000	118,320	0.2			0.1	
2												
3												
4												
5												
6												
7												
8												
9												
10												
11												
12												
13												
14												
15												
16												
17												
18												
19												
20												
21												
22												
23												
24												
25												
計						120,000	118,320	0.2			0.1	

※人工単価(千円)正規7,000 再任用(h31)3,600 再任用(h26)2,600 非常勤2,800

事業シート (事業名) 発達支援教育指導員等配置事業

◇事業目的・事業対象

発達に偏りがあり、特別な支援を要する児童が在籍する小学校に、発達支援教室を開設し、あわせて指導員等を配置することにより、発達支援教育の充実を図る。

◇事業の概要

【H27-H30重点戦略項目No.37、38】

発達支援教育指導員等配置事業

- ・発達支援教室の開設
- ・発達支援教育指導員の配置

【R1-R4重点戦略項目No.81】

発達支援教育指導員等配置事業

- ・発達支援教室の開設(1教室に1人発達支援教育指導員を配置)

スクールヘルパーの配置

◇事業の性質

開始年度	終了予定	会計区分	事務区分	根拠法令等	総合戦略	重点戦略	主要事業
H11	-	一般会計	自治事務(その他)	浜松市立小中学校スクールヘルパー設置要綱外	○	○	○

◇事業のコスト

		H27	H28	H29	H30	R1
事業費(千円)	予算	97,467	108,778	112,539	117,285	118,320
	決算	91,542	102,372	106,387	111,152	
	国・県支出					
	市債					
	その他					
	一般財源	91,542	102,372	106,387	111,152	118,320
	一般会計繰入金					
人件費(報酬等) (千円)						
人件費 (千円)		4,200	4,200	1,680	1,680	1,680
人工	正規	0.6	0.6	0.2	0.2	0.2
	再任用(h31)					
	再任用(h26)					
	非常勤			0.1	0.1	0.1

◇SDGsとの関連

・関連するゴール

ゴール	ターゲット	ゴール	ターゲット
①貧困		⑩不平等	
②飢餓		⑪都市	
③保健		⑫生産・消費	
④教育	○ 4.5	⑬気候変動	
⑤ジェンダー		⑭海洋資源	
⑥水・衛生		⑮陸上資源	
⑦エネルギー		⑯平和	
⑧成長・雇用		⑰実施手段	
⑨イノベーション			

・事業とゴールの関連性

発達支援教育の充実を図るため、発達支援教室の増設、発達支援教育指導員・スクールヘルパーの増員を行い、特別な支援を要する児童の適切な学習機会を確保していく。

◇事業の指標(R1:総合戦略最終年度、R4:重点戦略最終年度、R6:基本計画最終年度)

主な事業活動・事業成果 指標(単位)					総合戦略施策体系		重点戦略項目No	
							H27~H30	R1~R4
小学校発達支援教室数(教室)					-		37	81
年度	H27	H28	H29	H30	R1	R4	R6	
目標値	49	52	55	58	61	70	76	
実績値	49	52	55	58				
主な事業活動・事業成果 指標(単位)					総合戦略施策体系		重点戦略項目No	
							H27~H30	R1~R4
小学校発達支援教育指導員の配置数(人)					-		38	
年度	H27	H28	H29	H30	R1	R4	R6	
目標値	49	52	55	58				
実績値	49	52	55	58				
主な事業活動・事業成果 指標(単位)					総合戦略施策体系		重点戦略項目No	
							H27~H30	R1~R4
スクールヘルパーの配置数(人)					-			
年度	H27	H28	H29	H30	R1	R4	R6	
目標値	82	88	91	91	94	103	109	
実績値	82	90	93	95				
主な事業活動・事業成果 指標(単位)					総合戦略施策体系		重点戦略項目No	
							H27~H30	R1~R4
年度	H27	H28	H29	H30	R1	R4	R6	
目標値								
実績値								
主な事業活動・事業成果 指標(単位)					総合戦略施策体系		重点戦略項目No	
							H27~H30	R1~R4
年度	H27	H28	H29	H30	R1	R4	R6	
目標値								
実績値								

◇平成30年度の事業評価

・平成30年度の事業の概要

【H27-H30重点戦略項目No.37】

・発達支援教室の開設

【H27-H30重点戦略項目No.38】

・発達支援教育指導員の配置

・スクールヘルパーの配置

・事業の成果と課題

指標の達成度

計画通り

計画通り、小学校3校に新たに発達支援教室を開設し、発達支援教育指導員を3人配置した。あわせて、特別な支援を要する児童が在籍する小学校にはスクールヘルパーを配置した。

・ 事業の見直し

実施結果

大項目 小項目 / 事業費 人工

計画通りに事業を進めることはできたが、発達に偏りがあり、特別な支援を要する児童は増加傾向にあることから、指導員等の増員が求められる。

今後の方向性

大項目 小項目 / 事業費 人工

今後も発達に偏りがあり、特別な支援を要する児童は増加傾向にあるため、学校現場のニーズ・状況に合わせて発達支援教室の開設や指導員等の増員を行う必要がある。また、限られた人材を有効的に活用していくために、指導員等の適正な配置も求められる。

補助シート (事業名) 発達支援教育指導員等配置事業

◇【R1～R4】事業工程表 (No.: 重点戦略項目No)

No.	R1	R2	R3	R4
81	発達支援教室 61教室開設 ※1教室に1人発達支援 教育指導員を配置。	発達支援教室 64教室開設 ※1教室に1人発達支援 教育指導員を配置。	発達支援教室 67教室開設 ※1教室に1人発達支援 教育指導員を配置。	発達支援教室 70教室開設 ※1教室に1人発達支援 教育指導員を配置。
〇〇				

◇【H27～H30】事業工程表 (No.: 重点戦略項目No)

No.	H27	H28	H29	H30
37	発達支援教室開設 49校開設	発達支援教室開設 52校開設	発達支援教室開設 55校開設	発達支援教室開設 58校開設
38	発達支援教育指導員 49人配置	発達支援教育指導員 52人配置	発達支援教育指導員 55人配置	発達支援教育指導員 58人配置

政策シート

(政策名) 一人ひとりの可能性を引き出し、伸ばす取り組みの実践
(予算費目名) 中学校教職員管理費

(総合計画体系)

「分野」 子育て・教育

30年後の姿 地域の宝として愛情を注がれた子どもたちは、浜松に誇りを持ち、世界を舞台に活躍している。

10年後の目標

- 子どもたちの成長を第一に考えた地域社会のサポートにより、仕事と子育てが両立できる環境が整っている。
- すべての子どもたちは、互いの個性を認め合い、夢と希望を持って学び、生きる力を身に付けている。

◆基本政策 市民協働による未来創造へのひとづくり

◇政策の概要

発達に偏りがあり、特別な支援を要する生徒が在籍する中学校に、発達支援教室を開設し、あわせて指導員等を配置することにより、発達支援教育の充実を図る。

◇関連するSDGsのゴール

④教育									
-----	--	--	--	--	--	--	--	--	--

◇政策のコスト(千円)

	H27	H28	H29	H30	R1
予算	37,365	42,645	44,675	47,144	48,049
決算	34,601	40,151	40,113	43,286	
人件費(A)	2,100	2,100	980	980	980
報酬(B)					
年間経費(予算又は決算+A+B)	36,701	42,251	41,093	44,266	49,029

◇政策の指標

政策指標	単位	R6 目標値	年度	H27	H28	H29	H30	R1
中学校発達支援教室数	教室	41	目標	23	25	27	29	31
			実績	23	25	27	29	
中学校発達支援教育指導員の配置数	人		目標	23	25	27	29	
			実績	23	25	27	29	
スクールヘルパーの配置数	人	42	目標	26	30	30	30	32
			実績	26	32	29	29	

◇平成30年度の政策評価(政策の概要)

発達に偏りがあり、特別な支援を要する生徒が在籍する中学校に、発達支援教室を開設し、あわせて指導員等を配置することにより、発達支援教育の充実を図る。

◇平成30年度の政策評価(政策の進捗・課題)

<進捗> 計画通り

計画通り、中学校2校に新たに発達支援教室を開設し、発達支援教育指導員を2人配置した。あわせて、特別な支援を要する生徒が在籍する中学校にはスクールヘルパーを配置した。

◇政策実現のために実施する事業一覧

	事業名	総合戦略	重点戦略	主要事業	完了	コスト (千円)	事業費 (千円)	人工				報酬 (千円)
								正規	再任用 (31h)	再任用 (26h)	非常勤	
1	発達支援教育指導員等配置事業	○	○	○		49,029	48,049	0.1			0.1	
2												
3												
4												
5												
6												
7												
8												
9												
10												
11												
12												
13												
14												
15												
16												
17												
18												
19												
20												
21												
22												
23												
24												
25												
計						49,029	48,049	0.1			0.1	

※人工単価(千円)正規7,000 再任用(h31)3,600 再任用(h26)2,600 非常勤2,800

事業シート (事業名) 発達支援教育指導員等配置事業

◇事業目的・事業対象

発達に偏りがあり、特別な支援を要する生徒が在籍する中学校に、発達支援教室を開設し、あわせて指導員等を配置することにより、発達支援教育の充実を図る。

◇事業の概要

【H27-H30重点戦略項目No.37、38】

発達支援教育指導員等配置事業

- ・発達支援教室の開設
- ・発達支援教育指導員の配置

【R1-R4重点戦略項目No.81】

発達支援教育指導員等配置事業

- ・発達支援教室の開設(1教室に1人発達支援教育指導員を配置)

スクールヘルパーの配置

◇事業の性質

開始年度	終了予定	会計区分	事務区分	根拠法令等	総合戦略	重点戦略	主要事業
H11	-	一般会計	自治事務(その他)	浜松市立小中学校スクールヘルパー設置要綱外	○	○	○

◇事業のコスト

		H27	H28	H29	H30	R1
事業費(千円)	予算	37,365	42,645	44,675	47,144	48,049
	決算	34,601	40,151	40,113	43,286	
	国・県支出					
	市債					
	その他					
	一般財源	34,601	40,151	40,113	43,286	48,049
	一般会計繰入金					
人件費(報酬等) (千円)						
人件費 (千円)		2,100	2,100	980	980	980
人工	正規	0.3	0.3	0.1	0.1	0.1
	再任用(h31)					
	再任用(h26)					
	非常勤			0.1	0.1	0.1

◇SDGsとの関連

・関連するゴール

ゴール	ターゲット	ゴール	ターゲット
① 貧困		⑩ 不平等	
② 飢餓		⑪ 都市	
③ 保健		⑫ 生産・消費	
④ 教育	○ 4.5	⑬ 気候変動	
⑤ ジェンダー		⑭ 海洋資源	
⑥ 水・衛生		⑮ 陸上資源	
⑦ エネルギー		⑯ 平和	
⑧ 成長・雇用		⑰ 実施手段	
⑨ イノベーション			

・事業とゴールの関連性

発達支援教育の充実を図るため、発達支援教室の増設、発達支援教育指導員・スクールヘルパーの増員を行い、特別な支援を要する生徒の適切な学習機会を確保していく。

◇事業の指標(R1:総合戦略最終年度、R4:重点戦略最終年度、R6:基本計画最終年度)

主な事業活動・事業成果 指標(単位)					総合戦略施策体系		重点戦略項目No	
							H27~H30	R1~R4
中学校発達支援教室数(教室)					-		37	81
年度	H27	H28	H29	H30	R1	R4	R6	
目標値	23	25	27	29	31	37	41	
実績値	23	25	27	29				
主な事業活動・事業成果 指標(単位)					総合戦略施策体系		重点戦略項目No	
							H27~H30	R1~R4
中学校発達支援教育指導員の配置数(人)					-		38	
年度	H27	H28	H29	H30	R1	R4	R6	
目標値	23	25	27	29				
実績値	23	25	27	29				
主な事業活動・事業成果 指標(単位)					総合戦略施策体系		重点戦略項目No	
							H27~H30	R1~R4
スクールヘルパーの配置数(人)					-			
年度	H27	H28	H29	H30	R1	R4	R6	
目標値	26	30	30	30	32	38	42	
実績値	26	32	29	29				
主な事業活動・事業成果 指標(単位)					総合戦略施策体系		重点戦略項目No	
							H27~H30	R1~R4
年度	H27	H28	H29	H30	R1	R4	R6	
目標値								
実績値								
主な事業活動・事業成果 指標(単位)					総合戦略施策体系		重点戦略項目No	
							H27~H30	R1~R4
年度	H27	H28	H29	H30	R1	R4	R6	
目標値								
実績値								

◇平成30年度の事業評価

・平成30年度の事業の概要

【H27-H30重点戦略項目No.37】

・発達支援教室の開設

【H27-H30重点戦略項目No.38】

・発達支援教育指導員の配置

・スクールヘルパーの配置

・事業の成果と課題

指標の達成度

計画通り

計画通り、中学校2校に新たに発達支援教室を開設し、発達支援教育指導員を2人配置した。あわせて、特別な支援を要する生徒が在籍する中学校にはスクールヘルパーを配置した。

・ 事業の見直し

実施結果

大項目 小項目 / 事業費 人工

計画通りに事業を進めることはできたが、発達に偏りがあり、特別な支援を要する生徒は増加傾向にあることから、指導員等の増員が求められる。

今後の方向性

大項目 小項目 / 事業費 人工

今後も発達に偏りがあり、特別な支援を要する生徒は増加傾向にあるため、学校現場のニーズ・状況に合わせて発達支援教室の開設や指導員等の増員を行う必要がある。また、限られた人材を有効的に活用していくために、指導員等の適正な配置も求められる。

補助シート (事業名) 発達支援教育指導員等配置事業

◇【R1～R4】事業工程表 (No.: 重点戦略項目No)

No.	R1	R2	R3	R4
81	発達支援教室 31教室開設 ※1教室に1人発達支援 教育指導員を配置。	発達支援教室 33教室開設 ※1教室に1人発達支援 教育指導員を配置。	発達支援教室 35教室開設 ※1教室に1人発達支援 教育指導員を配置。	発達支援教室 37教室開設 ※1教室に1人発達支援 教育指導員を配置。
〇〇				

◇【H27～H30】事業工程表 (No.: 重点戦略項目No)

No.	H27	H28	H29	H30
37	発達支援教室開設 23校開設	発達支援教室開設 25校開設	発達支援教室開設 27校開設	発達支援教室開設 29校開設
38	発達支援教育指導員 23人配置	発達支援教育指導員 25人配置	発達支援教育指導員 27人配置	発達支援教育指導員 29人配置

政策シート

(政策名) 一人ひとりの可能性を引き出し、伸ばす取り組みの実践
(予算費目名) 教育指導費

(総合計画体系)

「分野」 子育て・教育

30年後の姿 地域の宝として愛情を注がれた子どもたちは、浜松に誇りを持ち、世界を舞台に活躍している。

10年後の目標

- 子供たちの成長を第一に考えた地域社会のサポートにより、仕事と子育てが両立できる環境が整っている。
- すべての子供たちは、互いの個性を認め合い、夢と希望を持って学び、生きる力を身に付けている。

◆基本政策 市民協働による未来創造へのひとつづくり

◇政策の概要

・不登校児童生徒の支援や問題行動の未然防止、早期発見、早期対応、外国人児童生徒の支援等を行っていくため、教育相談体制を充実していく。
・就学支援委員会や幼児ことばの教室の運営を行う。

◇関連するSDGsのゴール

④教育								
-----	--	--	--	--	--	--	--	--

◇政策のコスト(千円)

	H27	H28	H29	H30	R1
予算	290,948	303,122	327,180	363,309	400,515
決算	276,523	282,523	309,767	343,612	
人件費(A)	88,300	105,100	107,200	114,200	137,900
報酬(B)					
年間経費(予算又は決算+A+B)	364,823	387,623	416,967	457,812	538,415

◇政策の指標

政策指標	単位	R6 目標値	年度	H27	H28	H29	H30	R1
教育総合支援センター及び各区における相談件数	件	1400	目標	1,400	1,400	1,400	1,400	1400
			実績	1,350	1,360	1,397	1,434	
市内小中学校の不登校児童生徒数	人	930	目標	930	930	930	930	930
			実績	1,034	1,044	1,160	1,317	
日本語を必要とする児童生徒への支援達成率	%	100	目標	98	99	99	99	100
			実績	98	99	99	99	

◇平成30年度の政策評価(政策の概要)

・不登校児童生徒の支援や問題行動の未然防止・早期対応、外国人児童生徒の支援等を行っていくため、教育相談体制を充実していく。
・心身に障害のある子供の教育の充実を図る。

◇平成30年度の政策評価(政策の進捗・課題)

<進捗> 計画通り

・不登校児童生徒の支援や問題行動の未然防止・早期対応、外国人児童生徒の支援等を行った。
・就学支援委員会の判定数は目標数を上回った。今後は保護者への周知と理解を進めていく。
・幼児ことばの教室の設置校が増えていかない。利用者や設置する学校の状況などを考慮して設置の検討を進めていく。

◇政策実現のために実施する事業一覧

	事業名	総合戦略	重点戦略	主要事業	完了	コスト (千円)	事業費 (千円)	人工				報酬 (千円)
								正規	再任用 (31h)	再任用 (26h)	非常勤	
1	発達支援教育推進事業		○	○		105,559	46,759	6.0				6.0
2	外国人子ども教育支援推進事業	○	○	○		147,258	122,058	2.0				4.0
3	生徒指導推進事業	○	○	○		64,185	45,985	2.6				
4	教育相談推進事業		○	○		139,994	117,594	1.6				4.0
5	不登校児支援推進事業	○	○	○		81,419	68,119	1.5				1.0
6												
7												
8												
9												
10												
11												
12												
13												
14												
15												
16												
17												
18												
19												
20												
21												
22												
23												
24												
25												
計						538,415	400,515	13.7				15.0

※人工単価(千円)正規7,000 再任用(h31)3,600 再任用(h26)2,600 非常勤2,800

事業シート (事業名) 発達支援教育推進事業

◇事業目的・事業対象

すべての子供に適正な教育を提供するため、調査・指導の結果に応じた発達支援学級等の適切な就学機会の提供を図る。また、学習障害等のある子供にきめ細かな指導を行うよう体制の整備を行う。

◇事業の概要

【R1-R4重点戦略項目No.81】

- ・就学支援委員会の運営
- ・幼児ことばの教室の運営

◇事業の性質

開始年度	終了予定	会計区分	事務区分	根拠法令等	総合戦略	重点戦略	主要事業
S47	—	一般会計	自治事務(その他)	学校教育法、発達障害者支援法	—	○	○

◇事業のコスト

		H27	H28	H29	H30	R1
事業費(千円)	予算	6,756	6,445	19,152	20,308	46,759
	決算	4,889	4,371	14,146	17,219	
	国・県支出			2,598	3,368	9,840
	市債					
	その他		38	378	32	45
	一般財源 一般会計繰入金	4,889	4,333	11,170	13,819	36,874
人件費(報酬等) (千円)						
人件費 (千円)		33,700	50,500	47,000	54,000	58,800
人工	正規	3.5	5.5	5.0	6.0	6.0
	再任用(h31)	1.0	1.0	1.0	1.0	
	再任用(h26)					
	非常勤	2.0	3.0	3.0	3.0	6.0

◇SDGsとの関連

・関連するゴール

ゴール	ターゲット	ゴール	ターゲット
① 貧困		⑩ 不平等	
② 飢餓		⑪ 都市	
③ 保健		⑫ 生産・消費	
④ 教育	○ 4.5,4.a	⑬ 気候変動	
⑤ ジェンダー		⑭ 海洋資源	
⑥ 水・衛生		⑮ 陸上資源	
⑦ エネルギー		⑯ 平和	
⑧ 成長・雇用		⑰ 実施手段	
⑨ イノベーション			

・事業とゴールの関連性

すべての子供に適正な教育を提供する。

◇事業の指標 (R1: 総合戦略最終年度、R4: 重点戦略最終年度、R6: 基本計画最終年度)

主な事業活動・事業成果 指標 (単位)					総合戦略施策体系	重点戦略項目No	
						H27~H30	R1~R4
就学支援委員会判定数(件)							
年度	H27	H28	H29	H30	R1	R4	R6
目標値	1140	1150	1160	1170	1200	1350	1500
実績値	1129	1260	1193	1319			
主な事業活動・事業成果 指標 (単位)					総合戦略施策体系	重点戦略項目No	
						H27~H30	R1~R4
幼児ことばの教室設置校数(校)							
年度	H27	H28	H29	H30	R1	R4	R6
目標値	-	11	11	11	11	14	15
実績値	-	10	10	10			
主な事業活動・事業成果 指標 (単位)					総合戦略施策体系	重点戦略項目No	
						H27~H30	R1~R4
発達支援学級数(教室)							
年度	H27	H28	H29	H30	R1	R4	R6
目標値					321	380	420
実績値				286			
主な事業活動・事業成果 指標 (単位)					総合戦略施策体系	重点戦略項目No	
						H27~H30	R1~R4
年度	H27	H28	H29	H30	R1	R4	R6
目標値							
実績値							
主な事業活動・事業成果 指標 (単位)					総合戦略施策体系	重点戦略項目No	
						H27~H30	R1~R4
年度	H27	H28	H29	H30	R1	R4	R6
目標値							
実績値							

◇平成30年度の事業評価

・平成30年度の事業の概要

- ・就学支援委員会の運営
- ・幼児ことばの教室の運営

・事業の成果と課題

指標の達成度

遅れている

- ・就学支援委員会判定数が目標数以上となった。今後も保護者への周知と理解をすすめていきたい。
- ・幼児ことばの教室設置校は現状のまま増えていない。利用者や設置する学校の状況などを踏まえ、設置について検討していきたい。

・ 事業の見直し

実施結果

大項目 小項目 / 事業費 人工

障がいを持つ幼児・児童・生徒が増加傾向にあることから、就学相談件数や就学支援委員会に諮る件数が増加している。また、内容も多様化しているおり、教育的ニーズや保護者等に対するサポート体制をより一層充実させる必要がある。

今後の方向性

大項目 小項目 / 事業費 人工

障がいを持つ幼児・児童・生徒が増加傾向にあることから、就学相談や就学支援委員会の充実に努め、適切な就学先を提供できるように努める。
幼児ことばの教室の利用者数などの状況を把握し、設置について検討していく。

補助シート (事業名) 発達支援教育推進事業

◇【R1～R4】事業工程表 (No.: 重点戦略項目No)

No.	R1	R2	R3	R4
81	調査・指導の結果に応じた発達支援学級等の適切な就学機会の提供を図り、すべての子供に適正な教育を提供する。	調査・指導の結果に応じた発達支援学級等の適切な就学機会の提供を図り、すべての子供に適正な教育を提供する。	調査・指導の結果に応じた発達支援学級等の適切な就学機会の提供を図り、すべての子供に適正な教育を提供する。	調査・指導の結果に応じた発達支援学級等の適切な就学機会の提供を図り、すべての子供に適正な教育を提供する。

◇【H27～H30】事業工程表 (No.: 重点戦略項目No)

No.	H27	H28	H29	H30

事業シート (事業名) 外国人子ども教育支援推進事業

◇事業目的・事業対象

【事業目的】 外国人の子供が抱える課題が多様化する中、教育支援体制や支援内容の充実を図ることで、共生社会の一員となる外国人の子供の学習や成長を支援する。
 【事業対象】 市立小中学校

◇事業の概要

【R1-R4重点戦略項目No.83】

外国人児童生徒の学習や成長を支援するため、外国人児童生徒就学サポーター及び相談員、協力員を配置するとともに、学校への初期適応のための母国語支援、ステップアップクラスでの学習等を行う。

◇事業の性質

開始年度	終了予定	会計区分	事務区分	根拠法令等	総合戦略	重点戦略	主要事業
H19		一般会計	自治事務(その他)	浜松市外国人児童生徒就学支援員設置要綱、外国人児童生徒就学サポーター設置要綱	○	○	○

◇事業のコスト

		H27	H28	H29	H30	R1
事業費(千円)	予算	112,454	115,656	115,827	123,008	122,058
	決算	105,862	104,757	106,577	114,947	
	国・県支出	6,287	11,012	12,180	13,000	26,531
	市債					
	その他					
	一般財源	99,575	93,745	94,397	101,947	95,527
	一般会計繰入金					
人件費(報酬等) (千円)						
人件費 (千円)		22,400	22,400	22,400	25,200	25,200
人工	正規	1.6	1.6	1.6	2.0	2.0
	再任用(h31)					
	再任用(h26)					
	非常勤	4.0	4.0	4.0	4.0	4.0

◇SDGsとの関連

・関連するゴール

ゴール	ターゲット	ゴール	ターゲット
① 貧困		⑩ 不平等	
② 飢餓		⑪ 都市	
③ 保健		⑫ 生産・消費	
④ 教育	○ 4.2、4.7	⑬ 気候変動	
⑤ ジェンダー		⑭ 海洋資源	
⑥ 水・衛生		⑮ 陸上資源	
⑦ エネルギー		⑯ 平和	
⑧ 成長・雇用		⑰ 実施手段	
⑨ イノベーション			

・事業とゴールの関連性

すべての子供に適正な教育を提供する。

◇事業の指標 (R1: 総合戦略最終年度、R4: 重点戦略最終年度、R6: 基本計画最終年度)

主な事業活動・事業成果 指標(単位)					総合戦略施策体系		重点戦略項目No	
							H27~H30	R1~R4
日本語指導を必要とする児童生徒への支援達成率(%)					-		83	
年度	H27	H28	H29	H30	R1	R4	R6	
目標値	98	99	99	99	100	100	100	
実績値	98	99	99	99				

主な事業活動・事業成果 指標(単位)					総合戦略施策体系		重点戦略項目No	
							H27~H30	R1~R4
年度	H27	H28	H29	H30	R1	R4	R6	
目標値								
実績値								

主な事業活動・事業成果 指標(単位)					総合戦略施策体系		重点戦略項目No	
							H27~H30	R1~R4
年度	H27	H28	H29	H30	R1	R4	R6	
目標値								
実績値								

主な事業活動・事業成果 指標(単位)					総合戦略施策体系		重点戦略項目No	
							H27~H30	R1~R4
年度	H27	H28	H29	H30	R1	R4	R6	
目標値								
実績値								

主な事業活動・事業成果 指標(単位)					総合戦略施策体系		重点戦略項目No	
							H27~H30	R1~R4
年度	H27	H28	H29	H30	R1	R4	R6	
目標値								
実績値								

◇平成30年度の事業評価

・平成30年度の事業の概要

外国人児童生徒の学習や成長を支援するため、外国人児童生徒就学サポーター及び相談員、協力員を配置するとともに、学校への初期適応のための母国語支援、ステップアップクラスでの学習等の外国人児童生徒の日本語及び学習の支援を行う。

・事業の成果と課題

指標の達成度

計画通り

・外国人児童生徒の学習や成長を支援するため、外国人児童生徒就学サポーター及び相談員、協力員を配置した。
 ・学校への初期適応のための母国語支援、ステップアップクラスでの学習等の外国人児童生徒の日本語及び学習の支援を行った。

・ 事業の見直し

実施結果

大項目 小項目 / 事業費 人工

外国人児童生徒就学サポーターや相談員等の配置により、外国人児童生徒の学習や成長を支援した。

今後の方向性

大項目 小項目 / 事業費 人工

初期適応サポーターを増員し、初期適応指導の実施方法を見直し、より多くの外国人児童生徒等に適切な支援ができるよう改善する。また、小学校入学予定の幼児と保護者に対する初期適応指導(プレスクール)を開催する。

補助シート (事業名) 外国人子ども教育支援推進事業

◇【R1～R4】事業工程表 (No.: 重点戦略項目No)

No.	R1	R2	R3	R4
83	外国人児童生徒就学サポーター及び相談員、協力員を配置するとともに、初期適応のための母国語支援、ステップアップクラスでの学習、プレスクールの実施等、外国人児童生徒の学習や成長を支援する。	外国人児童生徒就学サポーター及び相談員、協力員を配置するとともに、初期適応のための母国語支援、ステップアップクラスでの学習、プレスクールの実施等、外国人児童生徒の学習や成長を支援する。	外国人児童生徒就学サポーター及び相談員、協力員を配置するとともに、初期適応のための母国語支援、ステップアップクラスでの学習、プレスクールの実施等、外国人児童生徒の学習や成長を支援する。	外国人児童生徒就学サポーター及び相談員、協力員を配置するとともに、初期適応のための母国語支援、ステップアップクラスでの学習、プレスクールの実施等、外国人児童生徒の学習や成長を支援する。

◇【H27～H30】事業工程表 (No.: 重点戦略項目No)

No.	H27	H28	H29	H30

事業シート (事業名) 生徒指導推進事業

◇事業目的・事業対象

【事業目的】 児童生徒の不登校、問題行動の未然防止及び早期発見、早期解決を図り、どの子供も夢と希望を持って学ぶことができる学校づくりを進める。
 【事業対象】 市内小中学校

◇事業の概要

【生徒指導推進事業】
 生徒指導上の諸問題等により、緊急対応の必要がある学校に生徒指導推進協力員を派遣する。また、児童生徒のいじめ問題等の未然防止や早期発見・早期対応のため、いじめ対策等専門家チームを設置し、学校に対し指導・助言を行うとともに、インターネット上に潜む危険から子供たちを守るため、学校ネットパトロール調査を行う。

【スクールソーシャルワーク事業】【H27-30重点戦略項目No.40】【R1-R4重点戦略項目No.67、No.68】
 家庭環境等の問題を抱えた児童生徒や保護者に対し、多様な支援方法を用いて課題解決を図るため、教育分野に関する知識に加え、社会福祉等の専門性を有するスクールソーシャルワーカーを配置、派遣する。

◇事業の性質

開始年度	終了予定	会計区分	事務区分	根拠法令等	総合戦略	重点戦略	主要事業
H10		一般会計	自治事務(その他)	浜松市スクールソーシャルワーカー活用事業実施要綱	○	○	○

◇事業のコスト

		H27	H28	H29	H30	R1
事業費(千円)	予算	124,995	132,231	138,752	45,964	45,985
	決算	120,364	126,959	137,143	45,062	
	国・県支出	35,866	41,852	45,705	14,492	15,311
	市債					
	その他					
	一般財源 一般会計繰入金	84,498	85,107	91,438	30,570	30,674
人件費(報酬等) (千円)						
人件費 (千円)		3,500	4,200	7,000	7,000	18,200
人工	正規	0.5	0.6	1.0	1.0	2.6
	再任用(h31)					
	再任用(h26)					
	非常勤					

◇SDGsとの関連

・関連するゴール

ゴール	ターゲット	ゴール	ターゲット
① 貧困		⑩ 不平等	
② 飢餓		⑪ 都市	
③ 保健		⑫ 生産・消費	
④ 教育	○ 4.1	⑬ 気候変動	
⑤ ジェンダー		⑭ 海洋資源	
⑥ 水・衛生		⑮ 陸上資源	
⑦ エネルギー		⑯ 平和	
⑧ 成長・雇用		⑰ 実施手段	
⑨ イノベーション			

・事業とゴールの関連性

すべての子供に適正な教育を提供する。

◇事業の指標 (R1: 総合戦略最終年度、R4: 重点戦略最終年度、R6: 基本計画最終年度)

主な事業活動・事業成果 指標(単位)					総合戦略施策体系		重点戦略項目No	
							H27~H30	R1~R4
市内小中学校における問題行動の発生件数(件)					-			
年度	H27	H28	H29	H30	R1	R4	R6	
目標値	445	370	380	390	390	390	400	
実績値	380	397	342	276				
主な事業活動・事業成果 指標(単位)					総合戦略施策体系		重点戦略項目No	
							H27~H30	R1~R4
スクールソーシャルワーカーの配置数(人工)					-		40	67,68
年度	H27	H28	H29	H30	R1	R4	R6	
目標値	9	10	11	12	12	15	15	
実績値	9	10	11	12				
主な事業活動・事業成果 指標(単位)					総合戦略施策体系		重点戦略項目No	
							H27~H30	R1~R4
自分にはよいところがあると思う子どもの割合(%)					II-2(2)ウ			
年度	H27	H28	H29	H30	R1	R4	R6	
目標値	75	79	80	80	82	82	82	
実績値	小82.2、中74.2	小83.0、中75.0	小83.2、中75.5	小83.4、中80.3				
主な事業活動・事業成果 指標(単位)					総合戦略施策体系		重点戦略項目No	
							H27~H30	R1~R4
年度	H27	H28	H29	H30	R1	R4	R6	
目標値								
実績値								
主な事業活動・事業成果 指標(単位)					総合戦略施策体系		重点戦略項目No	
							H27~H30	R1~R4
年度	H27	H28	H29	H30	R1	R4	R6	
目標値								
実績値								

◇平成30年度の事業評価

・平成30年度の事業の概要

【生徒指導推進事業】

生徒指導上の諸問題等により、緊急対応の必要がある学校に生徒指導推進協力員を1人派遣する。また、児童生徒のいじめ問題等の未然防止や早期発見・早期対応のため、いじめ対策等専門家チームを設置し、学校に対し指導・助言を行うとともに、インターネット上に潜む危険から子供たちを守るため、学校ネットパトロール調査業務を委託により行う。

【スクールソーシャルワーク事業】【H27-30重点戦略項目No.40】

家庭環境等の問題を抱えた児童生徒や保護者に対し、多様な支援方法を用いて課題解決を図るため、教育分野に関する知識に加え、社会福祉等の専門性を有するスクールソーシャルワーカーを配置、派遣する。

・事業の成果と課題

指標の達成度

計画通り

【スクールソーシャルワーク事業】

家庭環境等の問題を抱えた児童生徒や保護者に対し、多様な支援方法を用いて課題解決を図るため、教育分野に関する知識に加え、社会福祉等の専門性を有するスクールソーシャルワーカーを11人工を拠点校に、1人を指導課に配置し、必要に応じて周辺校に派遣した。

【生徒指導推進事業】

生徒指導上の諸問題等により、緊急対応の必要がある学校に生徒指導推進協力員1人を派遣した。また、児童生徒のいじめ問題等の未然防止や早期発見・早期対応のため、いじめ対策等専門家チームを設置し、学校に対し指導・助言を行うとともに、インターネット上に潜む危険から子供たちを守るため、学校ネットパトロール調査業務を委託により行った。

・ 事業の見直し

実施結果

大項目 小項目 / 事業費 人工

- ・拠点校にスクールソーシャルワーカーを11人工配置し、生徒指導上の問題に対応した。
- ・指導課にスクールソーシャルワーカーのスーパーバイザーを配置して、スクールソーシャルワーカーを支援した。
- ・児童生徒の非行・問題行動の早期発見や緊急時の対応等を行うため、生徒指導推進協力員を派遣した。

今後の方向性

大項目 小項目 / 事業費 人工

- ・スクールソーシャルワーカーを増員して、家庭環境等の問題を抱えた児童生徒や保護者に対し、多様な支援方法を用いて課題解決を図っていく。
- ・スクールカウンセラーを増員して、児童生徒の非行・問題行動の早期発見や緊急時の対応等を行っていく。

補助シート (事業名) 生徒指導推進事業

◇【R1～R4】事業工程表 (No.: 重点戦略項目No)

No.	R1	R2	R3	R4
67 68	教育分野に関する知識に加え、社会福祉等の専門性を有するスクールソーシャルワーカーを配置、派遣し、家庭環境等の問題を抱えた児童生徒や保護者に対し、多様な支援方法を用いて課題解決を図る。	教育分野に関する知識に加え、社会福祉等の専門性を有するスクールソーシャルワーカーを配置、派遣し、家庭環境等の問題を抱えた児童生徒や保護者に対し、多様な支援方法を用いて課題解決を図る。	教育分野に関する知識に加え、社会福祉等の専門性を有するスクールソーシャルワーカーを配置、派遣し、家庭環境等の問題を抱えた児童生徒や保護者に対し、多様な支援方法を用いて課題解決を図る。	教育分野に関する知識に加え、社会福祉等の専門性を有するスクールソーシャルワーカーを配置、派遣し、家庭環境等の問題を抱えた児童生徒や保護者に対し、多様な支援方法を用いて課題解決を図る。

◇【H27～H30】事業工程表 (No.: 重点戦略項目No)

No.	H27	H28	H29	H30
40	スクールソーシャルワーカーやスクールカウンセラーを配置、派遣することで問題行動の早期発見、早期解決を図り、夢と希望が持てる学校づくりを進める。	スクールソーシャルワーカーやスクールカウンセラーを配置、派遣することで問題行動の早期発見、早期解決を図り、夢と希望が持てる学校づくりを進める。	スクールソーシャルワーカーやスクールカウンセラーを配置、派遣することで問題行動の早期発見、早期解決を図り、夢と希望が持てる学校づくりを進める。	スクールソーシャルワーカーやスクールカウンセラーを配置、派遣することで問題行動の早期発見、早期解決を図り、夢と希望が持てる学校づくりを進める。

事業シート (事業名) 教育相談推進事業

◇事業目的・事業対象

【事業目的】 教育に関する様々な相談に対応するため、教育総合支援センターに相談員を配置し、支援を行う。また、心理状態や精神状態の見極めを必要とする相談等にも対応できるよう、スクールカウンセラーを学校に配置・派遣する。
【事業対象】 市内小中学校

◇事業の概要

【教育相談支援事業】
外部専門家や専門事業者等の活用により、内容が複雑化、多様化している教育相談やいじめ相談等に対応する。
【スクールカウンセリング事業】【H27-30重点戦略項目No.40】【R1-R4重点戦略項目No.66、No.68】
いじめや不登校等の児童生徒、保護者等の悩みに対応するため、スクールカウンセラーを全中学校・市立高校に配置するとともに、全小学校に派遣する。

◇事業の性質

開始年度	終了予定	会計区分	事務区分	根拠法令等	総合戦略	重点戦略	主要事業
H20		一般会計	自治事務(その他)	家庭訪問相談員派遣事業実施要綱、教育相談支援センター心理専門実施要綱、教育相談支援センター研修会実施要綱	—	○	○

◇事業のコスト

		H27	H28	H29	H30	R1
事業費(千円)	予算	14,650	15,919	17,753	115,433	117,594
	決算	13,645	14,060	16,748	111,047	
	国・県支出	2,453	2,096	2,293	34,026	35,426
	市債					
	その他					
	一般財源 一般会計繰入金	11,192	11,964	14,455	77,021	82,168
人件費(報酬等) (千円)						
人件費 (千円)		3,500	3,500	6,300	6,300	22,400
人工	正規	0.5	0.5	0.9	0.9	1.6
	再任用(h31)					
	再任用(h26)					
	非常勤					4.0

◇SDGsとの関連

・関連するゴール

ゴール	ターゲット	ゴール	ターゲット
① 貧困		⑩ 不平等	
② 飢餓		⑪ 都市	
③ 保健		⑫ 生産・消費	
④ 教育	○ 4.1	⑬ 気候変動	
⑤ ジェンダー		⑭ 海洋資源	
⑥ 水・衛生		⑮ 陸上資源	
⑦ エネルギー		⑯ 平和	
⑧ 成長・雇用		⑰ 実施手段	
⑨ イノベーション			

・事業とゴールの関連性

すべての子供に適正な教育を提供する。

◇事業の指標 (R1: 総合戦略最終年度、R4: 重点戦略最終年度、R6: 基本計画最終年度)

主な事業活動・事業成果 指標(単位)					総合戦略施策体系		重点戦略項目No	
							H27~H30	R1~R4
教育総合支援センター及び各区における相談件数(件)								
年度	H27	H28	H29	H30	R1	R4	R6	
目標値	1400	1400	1400	1400	1400	1400	1400	
実績値	1350	1360	1397	1434				
主な事業活動・事業成果 指標(単位)					総合戦略施策体系		重点戦略項目No	
							H27~H30	R1~R4
スクールカウンセラーの配置数(人工)								
年度	H27	H28	H29	H30	R1	R4	R6	
目標値	59	62	63	67	66	69	70	
実績値	59	62	63	64				
主な事業活動・事業成果 指標(単位)					総合戦略施策体系		重点戦略項目No	
							H27~H30	R1~R4
年度	H27	H28	H29	H30	R1	R4	R6	
目標値								
実績値								
主な事業活動・事業成果 指標(単位)					総合戦略施策体系		重点戦略項目No	
							H27~H30	R1~R4
年度	H27	H28	H29	H30	R1	R4	R6	
目標値								
実績値								
主な事業活動・事業成果 指標(単位)					総合戦略施策体系		重点戦略項目No	
							H27~H30	R1~R4
年度	H27	H28	H29	H30	R1	R4	R6	
目標値								
実績値								

◇平成30年度の事業評価

・平成30年度の事業の概要

外部専門家や専門事業者等の活用により、内容が複雑化、多様化している教育相談やいじめ相談等に対応する。

【スクールカウンセリング事業】【H27-30重点戦略項目No.40】

いじめや不登校等の児童生徒、保護者等の悩みに対応するため、スクールカウンセラーを全中学校・市立高校に配置するとともに、全小学校に派遣する。

・事業の成果と課題

指標の達成度

計画通り

- ・心理専門相談員や家庭訪問相談員等を配置、派遣し、教育相談やいじめ相談に対応した。
- ・24時間いじめ電話相談業務を行った。

【スクールカウンセリング事業】【H27-30重点戦略項目No.40】

・いじめや不登校等の児童生徒、保護者等の悩みに対応するため、64人工のスクールカウンセラーを市立小・中学校、市立高等学校に派遣した。

・事業の見直し

実施結果

大項目 小項目 / 事業費 人工

・スクールカウンセラーを64人工に増員して、児童生徒や保護者の悩みに対応した。

今後の方向性

大項目 小項目 / 事業費 人工

外部専門家や専門事業者等の活用により、教育相談やいじめ相談等に対応する。
いじめや不登校等の児童生徒、保護者等の悩みに対応するため、スクールカウンセラーを全中学校・市立高校に派遣する。

補助シート (事業名) 教育相談推進事業

◇【R1～R4】事業工程表 (No.: 重点戦略項目No)

No.	R1	R2	R3	R4
66 68	スクールカウンセラーを全中学校・市立高校に配置するとともに、全小学校に派遣し、いじめや不登校等の児童生徒、保護者等の悩みに対応する。	スクールカウンセラーを全中学校・市立高校に配置するとともに、全小学校に派遣し、いじめや不登校等の児童生徒、保護者等の悩みに対応する。	スクールカウンセラーを全中学校・市立高校に配置するとともに、全小学校に派遣し、いじめや不登校等の児童生徒、保護者等の悩みに対応する。	スクールカウンセラーを全中学校・市立高校に配置するとともに、全小学校に派遣し、いじめや不登校等の児童生徒、保護者等の悩みに対応する。

◇【H27～H30】事業工程表 (No.: 重点戦略項目No)

No.	H27	H28	H29	H30
40	スクールソーシャルワーカーやスクールカウンセラーを配置、派遣することで問題行動の早期発見、早期解決を図り、夢と希望が持てる学校づくりを進める。	スクールソーシャルワーカーやスクールカウンセラーを配置、派遣することで問題行動の早期発見、早期解決を図り、夢と希望が持てる学校づくりを進める。	スクールソーシャルワーカーやスクールカウンセラーを配置、派遣することで問題行動の早期発見、早期解決を図り、夢と希望が持てる学校づくりを進める。	スクールソーシャルワーカーやスクールカウンセラーを配置、派遣することで問題行動の早期発見、早期解決を図り、夢と希望が持てる学校づくりを進める。

事業シート (事業名) 不登校児支援推進事業

◇事業目的・事業対象

【事業目的】 不登校児童生徒の自立を促すため、学校や家庭、専門機関と連携して支援を行う。
 【事業対象】 市立小中学校

◇事業の概要

【R1-R4重点戦略項目No.82】

不登校児童生徒の学校復帰と社会的自立支援を目指し、学校に登校できない子供に対応する校外適応指導教室や学校に登校するが、教室に入れない子供の校内適応指導教室を設置し、一人一人のニーズに応じた支援を行う。

◇事業の性質

開始年度	終了予定	会計区分	事務区分	根拠法令等	総合戦略	重点戦略	主要事業
H3		一般会計	自治事務(その他)	浜松市不登校児支援協議会設置要綱、不登校児」のための適応指導教室実施要項	○	○	○

◇事業のコスト

		H27	H28	H29	H30	R1
事業費(千円)	予算	32,093	32,871	35,696	58,596	68,119
	決算	31,763	32,376	35,153	55,337	
	国・県支出	245	456	469	3,545	5,268
	市債					
	その他			58		
	一般財源 一般会計繰入金	31,518	31,920	34,626	51,792	62,851
人件費(報酬等) (千円)						
人件費 (千円)		25,200	24,500	24,500	21,700	13,300
人工	正規	1.6	1.5	1.5	1.5	1.5
	再任用(h31)					
	再任用(h26)					
	非常勤	5.0	5.0	5.0	4.0	1.0

◇SDGsとの関連

・関連するゴール

ゴール	ターゲット	ゴール	ターゲット
① 貧困		⑩ 不平等	
② 飢餓		⑪ 都市	
③ 保健		⑫ 生産・消費	
④ 教育	○ 4.1	⑬ 気候変動	
⑤ ジェンダー		⑭ 海洋資源	
⑥ 水・衛生		⑮ 陸上資源	
⑦ エネルギー		⑯ 平和	
⑧ 成長・雇用		⑰ 実施手段	
⑨ イノベーション			

・事業とゴールの関連性

すべての子供に適正な教育を提供する。

◇事業の指標 (R1: 総合戦略最終年度、R4: 重点戦略最終年度、R6: 基本計画最終年度)

主な事業活動・事業成果 指標(単位)					総合戦略施策体系	重点戦略項目No	
						H27~H30	R1~R4
市内小中学校の不登校児童生徒数(人)							
年度	H27	H28	H29	H30	R1	R4	R6
目標値	930	930	930	930	930	930	930
実績値	1034	1044	1160	1317			
主な事業活動・事業成果 指標(単位)					総合戦略施策体系	重点戦略項目No	
						H27~H30	R1~R4
校内適応指導教室における児童生徒改善率(%)							
年度	H27	H28	H29	H30	R1	R4	R6
目標値					66	68	70
実績値			65				
主な事業活動・事業成果 指標(単位)					総合戦略施策体系	重点戦略項目No	
						H27~H30	R1~R4
年度	H27	H28	H29	H30	R1	R4	R6
目標値							
実績値							
主な事業活動・事業成果 指標(単位)					総合戦略施策体系	重点戦略項目No	
						H27~H30	R1~R4
年度	H27	H28	H29	H30	R1	R4	R6
目標値							
実績値							
主な事業活動・事業成果 指標(単位)					総合戦略施策体系	重点戦略項目No	
						H27~H30	R1~R4
年度	H27	H28	H29	H30	R1	R4	R6
目標値							
実績値							

◇平成30年度の事業評価

・平成30年度の事業の概要

不登校児童生徒の学校復帰と社会的自立支援を目指し、学校に登校できない子供に対応する校外適応指導教室や学校に登校するが、教室に入れない子供の校内適応指導教室を設置し、一人一人のニーズに応じた支援を行う。

・事業の成果と課題

指標の達成度

計画通り

- ・不登校児童生徒の学校復帰と社会的自立支援を目指し、学校に登校できない子供に対応する校外適応指導教室や、学校に登校するが教室に入れない子供の校内適応指導教室を設置した。
- ・校内適応指導教室支援員を配置した。
- ・ほっとエリア阿多古でチャレンジ教室(自然体験教室)を開催した。
- ・不登校児支援協議会を年2回開催した。

・ 事業の見直し

実施結果

大項目 小項目 / 事業費 人工

校外適応指導教室を1箇所増設し、市内で8箇所開設した。
校内適応指導教室を9教室増設し、11教室となった。

今後の方向性

大項目 小項目 / 事業費 人工

不登校児童生徒の学校復帰と社会的自立をめざし、一人一人のニーズに応じた支援のため、校内外の適応指導教室を運営するとともに、個別対応が必要な児童生徒を受け入れるための教室を設置する。

補助シート (事業名) 不登校児支援推進事業

◇【R1～R4】事業工程表 (No.: 重点戦略項目No)

No.	R1	R2	R3	R4
82	学校や家庭、専門機関と連携、支援を行い、不登校児童生徒の自立を促す。	学校や家庭、専門機関と連携、支援を行い、不登校児童生徒の自立を促す。	学校や家庭、専門機関と連携、支援を行い、不登校児童生徒の自立を促す。	学校や家庭、専門機関と連携、支援を行い、不登校児童生徒の自立を促す。

◇【H27～H30】事業工程表 (No.: 重点戦略項目No)

No.	H27	H28	H29	H30